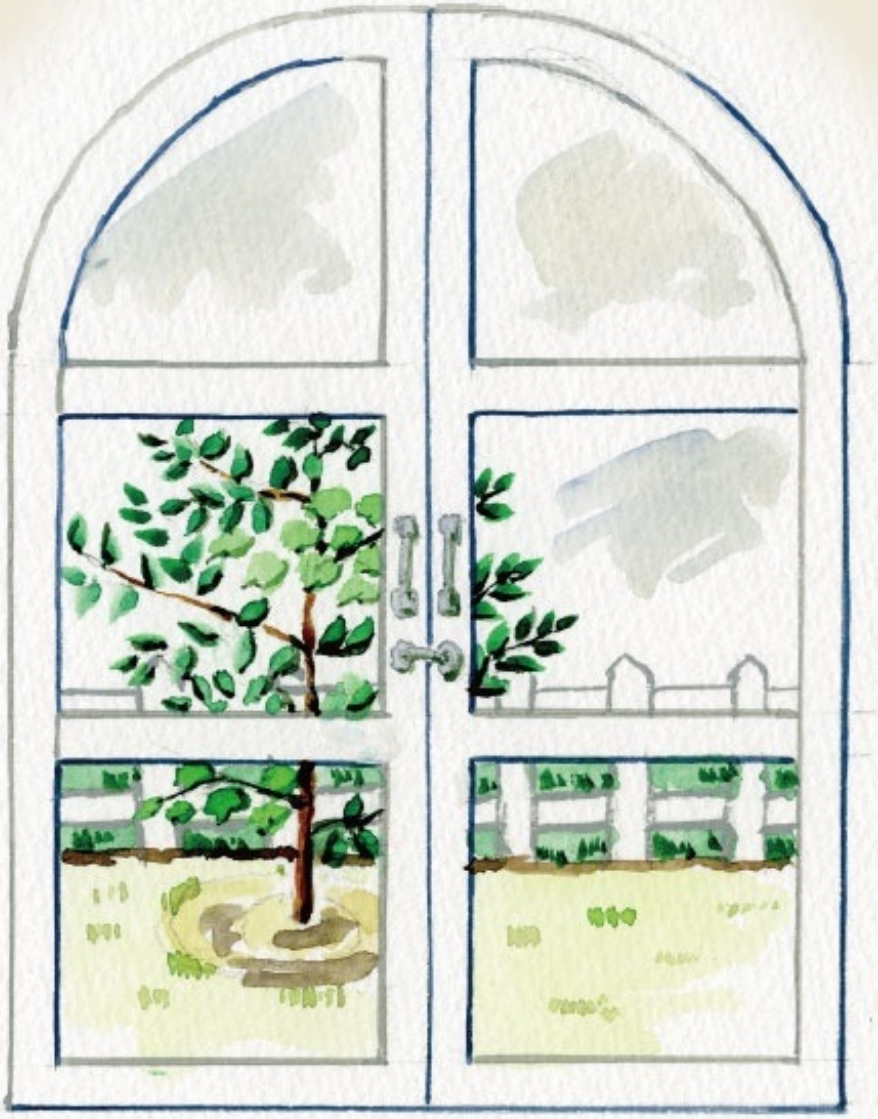
ゆめの成る木



絵・文：みね　かおる

ススム君は幼稚園を卒業し、今年の春から小学一年生。
今日は、さくらの咲く中、入学式に行ってきました。
学校からのお祝いなのか、一本の苗木をもらってきました。
その苗木は、葉っぱが少し変わっていましたが、
家の小さな庭に植えて、水をたっぷりあげました。
偶然にも、この木の高さは、ススム君と同じ 122cm。
ススム君は兄弟ができたような感じがしました。

この木を植えてから、はや一年。ススム君は小学二年生になりました。この木の葉っぱがマチマチなので、何の木か、図書館の図鑑で調べてみましたが、よく解りません。
お母さんに聞いても「そのうち花が咲いたり、実がなれば解るんじゃない」と言うだけです。
不思議なことに、この木の高さもススム君と同じで、6cm 伸びて、128cm になりました。

ススム君は小学三年生になり、身長も、また、6cm 伸びて、
この木と同じ 134cm になりました。
葉っぱはますます、いろんな形のものが出てきて、
ますます、何の木か解りません。
同級生のマー君やタッちゃんに聞くと、栗の木だったそうです。
この木も栗の木なのかな？ぶどうのような葉っぱがあったり。
みかんの臭いがする葉っぱがたったり、とても変です。

ススム君は小学四年生になりました。
あの木には、なんと、ももとくりの実が成りました。
「ももくり３年」言いますが、一本の木に、
ももとくりが同時に成るなんて、信じられない。
ススム君のお母さんは、大変喜こび、おいしくいただきました。
ススム君はひそかに思いました。
この木は、ももの木とくりの木のハーフだと・・・。

ススム君は小学五年生になり、元気に学校にかよっています。
今年は、この木にイチジクが成り、みんなピックリしました。
なぜ、イチジク？　ももくりの木じゃなかったんだ。
ススム君は、ますます訳がかかりますん。
ももとくりが成って、次の年にイチジクなんて。
学校のみんなに話したら、また、バカにされてしまいます。
実は去年も言ってバカにされたのです。

ススム君は小学六年生になり、だいぶしっかりしてきました。
この木は、あいかわらず、きまぐれで、
今年は、なんと、ぶどうが成りました。めだたしめだたし。
お母さんはぶどうなら、巨峰かマスカットがよかったみたい！
ススム君は思いました。
この木のハチャメチャはいつまで続くんだろう！
毎年、何が実るのか？　楽しみになってきました。

ススム君は中学一年生になり、新しい学校にかようようになりました。
この木もススム君の入学を祝うかのように。
今年は、桜の花が満開になり、お祝いムードいっぱいでした。
その後、りっぱなサクランボウが成り、黄色から赤色になるころ。
半分は小鳥に食べられてしまいましたが、
残りはおいしくいただきました。ススム君は思います。この木は、
どこかの学者さんが、遺伝子組み換えでできた産物ではと・・・。

ススム君は、中学二年生になり、身長もだいぶ伸びました。
不思議なことに、この木の高さも、あいかわらずススム君と同じです。
そして、今年、何が成ったかと言えば、りっぱな柿がなりました。
ところが、れいにもれず、当然のことながら、渋柿でした。
収穫の９割は干し柿に、残りはお母さんが柿渋石けんに
チャレンジしました。ススム君は思いました。
きっと、おやじへのプレゼント！・・・。

ススム君は中学三年生になり、また、受験生です。
勉強のほうも頑張っているようです。
今年は、この木にびわが成りました。
大きな実でしたが、種も大きく、
食べるところがちょっとしかありません。
お母さんは種無しびわが良かったとつぶやいていました。
ススム君は思いました。来年はまた、桜がいいなと・・・。

ススム君は高校一年生になり、少し大人びてきました。
今年は桜かと思いきや、なぜか、みかんでした。
ハッサクのような、少し甘酸っぱいみかんでした。
お母さんはそそまま食べたり、ジャムにしたり、お風呂に入れたり。
自由気ままに楽しんでいるようです。
ススム君は思いました。初恋はこんな感じ・・・。
初恋は甘酸っぱいと！　誰が言い出したんだろう！？

ススム君は高校二年生になり、部活も頑張っています。
あれから 10 年。この木のことは、未だに解りません。
えたいの知れないこの木に、今年は、りんごが成りました。
お母さんは、アップルパイにしたり、いろいろ楽しんでいました。
ススム君は思いました。常に新しい実が成る。
あのチャレンジ精神はすばらしい！！
でも、この木のことは、ないしょにしています。

ススム君は、高校三年生になり、また、受験生になりました。
これまでの受験と違って、より一層、頑張らないとだめだろうと。
そうそう、この木のことですが、今年は七色のグミが成りました。
お母さんは、少しガッカリしていました。
ススム君は思います。時には食べるより、
ながめて、楽しむのもいいなと・・・。
この木の DNA を調べれば、この木のことが解るのだろうか？・・・

ススム君はめでたく大学一年生になりました。
ずいぶん勉強、頑張ったようです。
今年は、この木に梨が成りました。20 世紀梨のような
上品なおいしさでした。ことしはお母さんのつぶやきもナシ。
いつのまにか、みんな、あまり期待しなくなっていました。
お父さんは言います。何が成るか解らないところに、
あの木の魅力があるのだと・・・。

ススム君は大学二年生になりました。最近あまり元気がありません。
それもそのはず、あの木が病気になりました。
お母さんが木のお医者さんにお願いし、治療してもらいました。
あの包帯とバンソーコウは、お父さんがしたのよ。
「あの木は家族の一員だから大切にしないと・・・」。
ススム君は思いました。何事も、常に順調に行くとは限らない・・・。
この木の不思議パワーがなくなりませんように！？

ススム君は大学三年生になりました。
この木は少しづつ、元気になっているようです。
今年も花も実もつけることはありませんでしたが。
元気になってきたんだから。それだけでいいじゃない。
そう言えば、木のお医者さんは言ってました。
「この木は何の木ですか？　不思議な木ですねと・・・」。
ススム君は思います。ひょっとして、世界に１本だけの木かも・・・。

ススム君は、大学四年生になり、
就活に忙しい毎日を過ごしていました。
この木はめでたく回復したのか、今年はゆずと梅が同時に成りました。
お父さんは言います。「ゆず」と「うめ」で、「ゆめの成る木」だ！っと。
それじゃ、おやじギャグだよ！！　ススム君は思います。
「ゆず」と「うめ」、どちらも健康にいいんだから。
この木の「思いやり」かも知れない・・・と。

ススム君は、来年度からチャレンジ精神旺盛な社会人。
どんな、夢を咲かせ、実らせてくれるのか？
おじさんは楽しみにしています。
この本のつづきは、読者の君に描いていってほしい。
この木のチャレンジ精神や豊かな発想力と、
人を思いやる心を持った「ゆめの成る木」を
大切に、育てていってほしい。